

平成 29 年 9 月 29 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 29 年 9 月 29 日 (金曜日)

午後 1 時 50 分から午後 3 時 30 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 高橋 謙 委 員 鷲尾 達雄 委 員 羽賀 友信
委 員 青柳 由美子 委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	金澤 俊道	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	中村 仁
学務課長	佐藤 正高	学校教育課長	竹内 正浩
子ども家庭課長	大矢 芳彦	保育課長	大野 宏
青少年育成課長	伊津 芳彦	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	スポーツ振興課係長	菊池 正信
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	柳沢 学
学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之	学校教育課指導主事	古川 真哉

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 星野 麻美 教育総務課庶務係長 佐藤 裕
教育総務課庶務係 内藤 貴幸

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 36 号	長岡市立学校使用条例施行規則の一部改正について
3	第 37 号	附属機関委員の委嘱について
4	第 38 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 9 月定例会を開会する。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 36 号 長岡市立学校使用条例施行規則の一部改正について

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 36 号 長岡市立学校使用条例施行規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(中村教育施設課長) 長岡市立学校使用条例施行規則の一部改正について説明する。改正理由は、高等総合支援学校屋内運動場及び屋外運動場と校舎を学校使用条例に基づき使用できるように条例の一部を改正したことに併せて、長岡市立学校使用条例施行規則の一部を改正するものである。現在は、小中学校のみが対象であるが、今回、総合支援学校と高等支援学校を学校使用対象に含めるよう規則を改正するものである。規則第 1 条及び規則第 2 条を改正する。第 1 条は、「小学校及び中学校」を「小学校、中学校及び特別支援学校」に改める。第 2 条は、総合支援学校・高等

総合支援学校の通学区域は、市内全域であるため、小中学校の通学区域を定めた長岡市立学校通学区域規則の別表第1を削除する。施行期日は、平成29年10月1日とする。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(羽賀委員) 新しく施設ができたので、規則内容を変えるのか。

(中村教育施設課長) そのとおりである。現在の学校使用条例では対象外となるため、特別支援学校を含め、施設使用できるように改正するものである。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第3 議案第37号 附属機関委員の委嘱について

(高橋教育長) 日程第3 議案第37号 附属機関委員の委嘱について を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 長岡市公立学校通学区域審議会委員の委嘱期間が平成29年9月30日満了することに伴い、新委員を選任する。委嘱期間は、平成29年10月1日から平成31年9月30日までの2年間である。委員数は28名である。オープンス쿨の太田中学校区を除く26学区からの推薦により26名を委嘱する。他2名は、小学校長会と中学校長会からの推薦である。新任が12名、再任が16名となる。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 附属機関委員は、概ね3分の1以上は女性委員を選出することが目安となっているがそれを満たしているのか。

(曾根教育総務課長) 満たしている。

(鷲尾委員) 附属機関委員は、どのようなことをするのか。

(佐藤学務課長) 長岡市公立学校通学区域審議会委員の設置目的は、教育委員会からの要望により、通学区域再編成及び学校統廃合について調査し、審議することである。最近は、学校の統廃合についてが議題となっている。

(青柳委員) 前任者が辞めることにより、新たに委員が選ばれているのか。また、任期は2年間だが、何回任期を務めたら交代するなどの決まりはあるのか。

(佐藤学務課長) 28名中新任12名、再任16名である。前任も28名であり新任9名、再任19名であった。何回務めたら交代するという決まりはない。

(青柳委員) 本人の自己申告により、辞任を申し出るのか。

(佐藤学務課長) その場合もある。地域からの団体が推薦するため、それぞれにおいて検討や協議がされている。男女の比率は、9月末までの前任は女性が6名で21.4%であった。選出にあたり積極的に女性を推薦してほしいと申し入れ、女性が11名となり39.3%となった。現行よりも新任が増えた要因でもある。

(金澤教育部長) 中学校区で、学校と地域が話し合い推薦者が選ばれている。辞任される際に、後任を見付けてくる場合もある。

(羽賀委員) 統廃合問題は、地域から声が上がリ教育委員会がアドバイスしながら進んでいくのではないかと。地域で声が上がリ、委員が協議するのか。委員が協議してから地域に話し、地域住人らが協議してから教育委員会に伝わるのか。手続の流れと委員の役割を説明願う。

(佐藤学務課長) 統廃合の手続はどうあるべきかも議題になったこともあるが、大部分の委員は、地域からの発言があつてからではないかとの意見だった。児童数の推移や情報の提供も行政から直接ではなく、地域や学校を通じて地域としての考えを示すべきではないかと確認した。

(金澤教育部長) この審議会は統廃合を決める会ではなく、通学路等の検討をする会である。統廃合について検討をし、手続を進めるというものではない。地域が関わってくるので、実際に統廃合をした地域の方が情報提供をすることはあるようだ。

(高橋教育長) 他に、質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(高橋教育長) 日程第4 議案第38号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 平成29年度長岡市教育委員会表彰被表彰者は、児童生徒を対象としたものである。2件の被表彰候補者は要件を満たした者である。審議を願う。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 定例会前に実施したヒアリングを踏まえ、各表彰候補者について一団体と一人が表彰者として適しているか否かを決定する。条項第1号のきぼう学級については、表彰者として決定してよいか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 条項第5号植木萌心さんについては、表彰者として決定してよいか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) それでは、いずれも「適」として決定する。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議は終了した。

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、9月議会における教育委員会関係の質問事項について 事務局の説明を求める。

(波多子ども未来部長) 9月議会における教育委員会関係の質問事項について説明する。一般質問では、服部耕一議員から保育園に関する諸問題について質問があった。寺泊地域の保育園再編計画について、保護者や地域への説明は丁寧に行ってほしいということと、他の支所地域においても今後再編を検討しているのかという質問があった。寺泊地域は、地域要望を尊重して5月から6月にかけて丁寧に説明していると答弁した。要望内容のとおり公立保育園3園と私立保育園1園を統合し、私立寺泊保育園を主体とした園運営を行う。他では川口地域から統合の要望があがっており、しっかり対応していくと答弁した。次に、平成29年度から東部川崎保育園、ひごし中央保育園が民営化したことに伴い、今後の公立保育園民営化の検証スケジュールについてと、今後の検討は検証を踏まえて慎重に行うべきと質問があった。平成26年に民間移管を決定してから、平成29年4月に移管をした後も、保

護者や移管先法人から保育の内容や期間、子どもたちの様子などを聞き取りしている。保護者からの要望には、法人と一緒に協議し改善を進めており、特に問題はないと答弁した。民営化にあたり、保育・教育に意欲のある社会福祉法人等と協力して進めていくと答弁した。

(金澤教育部長) 荒木法子議員から、長岡版イノベーション推進と公共データの活用促進について質問があった。長岡版イノベーションを支える人材育成について、子ども達のプログラミング的思考を育むために長岡市はどのように取り組んでいくのかと質問であった。新しい指導要領のプログラミング学習に対する準備、職員の研修や実践を重ねてどのような取組が有効であるか検証をしている。現在もプログラミング教室や小学校ロボコン教室を開催してプログラミング的思考を育てている。数学や理科、社会等の各教科でデータを活用した学習を行っている。今後もこのような取組を基にプログラミング的思考やデータ活用能力を育む教育を一層充実させたいと答弁した。広井晃議員から、障害者の環境について、学校の空き教室を障害者の作業的活用や福祉施設として利用してはどうかと質問があった。他の自治体での事例をみると、学校との管理区分を明確にしており、利用者のトイレや水回りの設備や管理をしている方々の事務所などが整備されないといけない。空いている教室はあるが、多目的学習教室や少人数の学校教育、児童館や児童クラブなど子どもたちのために活用しており、全く使用していない教室はない状況であると答弁した。一般質問は以上である。

(金澤教育部長) 文教福祉委員会の質問事項を説明する。田中茂樹委員から6月の件を受けて、その後の児童生徒の見守り体制についてと教育現場でのケアについて質問があった。全児童生徒に教育相談を実施し、全校体制で情報を共有し支援を行った。特に、夏休み前後には気になる児童生徒への声かけを継続し、丁寧に対応を図った。当該児童が、福島から避難された子であったため、危機管理防災本部と連携して相談窓口等の支援体制があり支援していると答弁した。また、福島県から派遣教員が柏崎市に来ており、いつでも長岡市の避難者も相談できることを周知したと答弁した。次に、子どもの生活習慣予防対策についての取組はどうか、予防検査の主な検査項目、受診率、結果はどうか、要精密検査と判定された生徒に対してどのようなケアをしているかとの質問があった。長岡市では中学2年生に血液検査を

実施しており、検査項目は、コレステロールや肥満度等と家族歴である。検査結果は、異状なし 62.4%、要注意 36.3%、要精密検査 1.3%であった。要精密検査の生徒には、プライバシーの保護に十分配慮しながら通知をして、各学校において養護教諭と栄養教職員とで指導し受診勧奨を行っている」と答弁した。高見美加委員からは、教員の業務負担軽減について教育委員会はどのような取組を進めているのかの質問があった。パソコンの校務支援システムを導入し、業務の効率化を図り、教育補助員や介助員等を配置して業務軽減を図った。また、夏季休業中に学校無人化を5日間実施し、教職員がまとまった休暇を取りやすい環境を整えている」と答弁した。各学校では、どのような取組を行っているのかとの質問には、管理職が教職員の出勤時間を把握し、個々に業務改善への支援を行っている。部活動は、週1日の休止日を設けている。各学校では、会議等の削減やノー残業デーの設定など、様々な取組を行っている」と答弁した。また、各学校の取組により、どのような成果が得られたのかとの質問があった。業務改善を図ろうと意識改革が進み、学校無人化の実施により、長い休みが取れるので心身のリフレッシュにつながっている。平成28年11月頃の国の調査と、平成29年6月の調査を比較すると長岡市の超過勤務の状況は全国の割合より低い傾向があると答弁した。文部科学省が概算要求した部活動指導員、教員の事務作業を代行するスタッフの配置など、国の施策について市としてどのように取り組むかとの質問には、国や県の具体的な動向を注視しながら、検討していく」と答弁した。酒井正春委員からは、小学生ロボコン教室と小学生ロボコン大会について質問があった。ロボコン大会の参加校数と参加人数や会場の雰囲気や子どもたちのやる気はどうかと質問があった。27校が参加し、約180人が参加した。高学年になるにつれ意欲が高まっている」と答弁した。これまでの成果はどうかとの質問には、経験によりその他の分野でも良い成績を残していること、続けていることが大きな成果であると答弁した。また、今後、ロボコン教室とロボコン大会をどのように進めていくのか、イベント性を高めてはどうか。ロボコン大会のような聖地ができると意欲も高まるのではないかと意見があった。それに対しては状況を見ながら検討をしていく」と答弁した。新しいプログラミング教育導入時に、ロボコン教室で指導した市民の方から参加してもらってはどうかとの質問には、そのことも選択肢の一つとして考えている」と答弁した。小坂井和夫委員からは、上川

西小学校校舎増築工事の内容について、既存プールの解体時期と新しいプールの完成時期の予定はどうなっているのかという質問があった。プールが使えない期間のプール授業は、バスでの送迎により希望が丘プールや他校のプールを利用することを学校と調整しプール授業を確保していくと答弁した。続いて池田明弘委員からは、市内の他の学校で屋上プールのある学校はあるのか、屋上にプールを建設するリスクや建設費はどうかと質問があった。現在は4校あり、阪之上小学校・川崎小学校・千手小学校・宮内中学校である。建物の構造を補強する必要はあるが、地上にプールを作る場合も基礎や杭打ちが必要であり、建設費はそれほど差はない。屋上に水がある事により2階3階が暑くならない利点があり、災害時の貯水の役割もある。リスクよりメリットが多いと答弁した。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 議会質問とは異なるが、黒条保育園と宮内保育園の民営化の件が新聞に取り上げられていた。記事を読んだ保護者や関係者から、電話等の問い合わせはあったのか。

(大野保育課長) 今朝の新聞であり、まだ問い合わせはない。昨日と一昨日、保護者や地域関係者に説明をしたが、概ね反対の意見はなかった。「保育料はどうなるのか。」「給食はどうなるのか。」など心配の声があった。今後も機会を設け説明をしていく。

(高橋教育長) 丁寧に説明をして進めてほしい。

(高橋教育長) 次に、教育委員会関係工事等の入札状況について事務局の説明を求める。

(中村教育施設課長) 上川西小学校校舎増築工事は、予定価格1億5,000万円以上の工事であり、契約については議会の議決が必要である。9月議会に議案として提出し、議決された。工事の施工者、契約工期と契約金額は表に記載のとおりである。現在、上川西小学校は6月議会の議決により、大規模改造工事を進めている。上川西小学校は児童数の増加により、多目的スペースや特別教室を普通教室に転用しているほか、児童玄関が狭くなってきている。引き続き図面のとおり改造工事を進める。平家建ての児童玄関、機械室とプールを解体して、鉄筋コンクリート3階建ての校舎を建てる。電気設備工事と機械設備工事は、別発注工事であり、機械設備工

事の施工業者は、決定している。

(高橋教育長) 増築部分がプールの一部にかかる。そのため、現在の位置にプールは造れない。グラウンドにプールを造ると子どもたちの活動が狭くなることから、増築部分の屋上にプールを造るという考えか。

(中村教育施設課長) そうである。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(羽賀委員) 地震があった時、プールの水は溢れないのか。

(中村教育施設課長) 多少揺れるため波打つが、溢れた水は排水し、浄化槽に流れるため、特に心配はない。

(高橋教育長) 次に、平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果分析と長岡市教育委員会としての取組について 事務局の説明を求める。この内容については非公開が適当ではないかと思うが、他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) では、非公開とする。

————— 会議規則第 20 条第 2 項の規定により記録中止 —————

(高橋教育長) 非公開はここまでとする。

(高橋教育長) 次に、長岡市保育士等のキャリアアップ構築のための人材交流等支援事業費補助金交付要綱の一部改正について 事務局の説明を求める。

(大野保育課長) この事業は、国の補助事業であり、国から補助金基準額変更の通知が 8 月にあった。そのため、必要な改正を行うものである。事業内容は、保育所勤務の保育士が他保育園に派遣研修や人材交流を行うときに必要な経費を補助するものと、保育所に指定保育士養成施設の学生の保育実習を受け入れ、適切な実習指導を行うために必要な経費を補助するものがある。補助金の基準額は、代替保育士雇上費 6,240 円（1 人 1 日当たり）、実地派遣研修等に係る調整費 4,000 円（1 人当たり）、保育実習受入費 10,000 円（1 人当たり）、保育実習受入に係る調整費 4,000 円（1 人当たり）である。基準額と実際に支出した費用を比較していずれか少ない額を全額補助する。補助率は、国が 4 分の 3 で市が 4 分の 1 である。今回の

改正では、代替保育士雇上費の基準額 6,240 円を 6,390 円に改める。施行日は、公表の日からであり、平成 29 年度の補助金から適用となる。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 代替保育士雇上費は、1 日に何時間雇用する想定なのか。

(大野保育課長) 基準額は、8 時間勤務した場合である。

(高橋教育長) 次に、親も育つ子育てセミナー幼児期コース実施報告について 事務局の説明を求める。

(伊津青少年育成課長) この講座は昭和 49 年から実施されている。5 月 17 日から 7 月 19 日の毎週水曜日（6 月 10 日のみ土曜日）に全 8 回、参加人数は大人 42 人（うち、みしま中央保育園職員 14 名が交替で参加）で一般 28 人、新規 19 人、リピーターが 9 人であった。他に幼児 24 人、保育協力員 26 人であった。8 回の講座のうち 6 月 10 日はパパも一緒に参加しようと、父親も参加できるように開催した。父親参加は、3 人であった。6 月 21 日の館外学習では、みしま中央保育園・子育ての駅みしまでピザを焼く体験をした。受講者アンケートでは、「子どもを預けて講座をじっくり聞くことができた」、「受講生同士が悩みを分かち合え、学び合えてよかった」などの感想もあった。受講にあたり、講座 OG 等の保育協力員 26 人に協力を願い、保育をしながら受講をした。また、茶話会等を開催し受講者同士が仲良くなるように準備や司会運営などを受講者に任せた。講座の成果として、「受講してよかった」という肯定的意見が 100%であった。特に人気があった講座は、第 2 回「足の健康と子どもの成長発達を足育で促進」と第 5 回「館外学習」であった。今後は、児童思春期コースを 9 月から 11 月に開催をする。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 次に、オーストラリア競泳チームの小中学生への実技指導等について 事務局の説明を求める。

(菊池スポーツ振興課係長) 平成 29 年 3 月に長岡市とオーストラリア水泳連盟が東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ連携協定を締結したことをきっかけに、オーストラリアの競泳チームを招待する。10 月 15 日に新潟県スプリント選手水泳競技大会が、ダイエープロビスフェニックスプールで開催される。競泳チームの選手 4 名とコーチ 2 名がレースに参加をする。レースの予選会では、エキシ

ビジョンで小学生と一緒に泳いだり、握手会をする予定である。前日の 14 日開催の「熱中！感動！夢づくり競泳教室」にも参加し、プールの中で市内小中学生への実技指導を行う。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 希望する小中学生は、概ね参加できるのか。

(菊池スポーツ振興課係長) 参加者は、191 名募集をしているため概ね参加できる。

(高橋教育長) 次に、附属機関等会議報告について 事務局の説明を求める。

(小熊科学博物館長) 平成 29 年度 第 1 回長岡市文化財保護審議会報告を 8 月 9 日に開催した。長岡市文化財保護審議会委員 10 名と教育委員会関係者 10 名が参加した。寺泊地域で発掘をした稲場遺跡の発掘調査成果について報告をした。平成 29 年 4 月、新たに北前船関係が文化庁の日本遺産に認定された。これまで事務局は酒田市であったが、関係市町村で連携をして共同で申請し、認定を受けたことを報告した。国史跡「馬高・三十稲場遺跡」は、文化庁から指定の範囲に馬高と三十稲場遺跡の間の沢部分も追加して指定された。答申が 5 月にあり、追加指定の報告をした。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 北前船寄港地は日本海側に数多くあるが、長岡に關係する北前船關係は何があるのか。

(小熊科学博物館長) 大きいものは、白山媛神社にある船絵馬が国の重要民俗文化財である。

(高橋教育長) 他の寄港地にはないものなのか。

(小熊科学博物館) まとまって残っている所は少なく、寺泊にあるものは貴重である。

(高橋教育長) 他に、質疑・意見はないか。

(高橋教育長) 以上で、協議報告事項を終える。

(高橋教育長) 次に、催し案内について補足説明のある者は挙手願う。

(竹内学校教育課長) キャリア教育推進事業特別授業「夢先生」が、10 月 17 日から 10 月 20 日に一流の実績を持つスポーツ関係者が特別事業の講師（夢先生）として授業を行う。

(山田中央図書館長) とちびまつりは、平成 27 年に栃尾美術館 20 周年を記念して開催し、今年で 3 回目となる。喫茶チビ・トチビ、栃尾観光協会と協力をしてワークショップを開催する。中央図書館からは、自動車文庫も派遣する。8 月 16 日から高橋まゆみ人形展を開催しており、約 2 週間で 3,353 人の来場があった。人形は 100 体程展示しており、見ごたえのあるものである。11 月 19 日まで展示する。次に、図書館謎解きゲーム怪盗 X からの挑戦状を中央図書館で開催する。平成 28 年からの催しで、中高生向けに図書館内で謎解きゲームを行う。女子高生に人気があり、ゲームに参加したついでに、図書館を利用する起爆剤となったことから今年も実施するものである。また、長岡市災害復興文庫展 2017 を 10 月 28 日に開催する。長岡市災害復興文庫で取り組んだ成果を発表し、阪神淡路大震災で神戸大学の図書館で復興への活躍をした稲葉洋子氏と、熊本地震で再開発したくまもと森都心プラザ図書館長の河瀬裕子氏らを招き、記念シンポジウムを開催する。次に、文書資料室が開催する古文書相談の日(予約制)についてだが、自宅にある古文書など不定期に持ち込みがあり、文書史料室でも対応しきれない場合があるため、この度、長岡郷土史研究会の先生 2 名と文書資料室嘱託員が協力をして、古文書解説のお手伝いをするものである。

(大矢子ども家庭課課長) 思春期向け次代の親育成事業として、山本中学校 2 年生と栖吉中学校 3 年生が生命の誕生を座学で学んだ。今度は、実際に子育ての駅や保育園で乳児と母親と中学生がふれあい交流をし、命の大切さを学ぶ。昨年度のアンケートでは、子どもの自己肯定感が上がっている。母親は、子育てが辛いこともあるが中学生が笑顔で幼児と遊んだり、触れ合っている様子をうれしく感じ、よかったと思っており母親にもよい結果となっている。12 月まで各学校で続いていく授業である。

(伊津青少年育成課長) ポニーカーニバル in よいたは、与板地域の体育祭と同時開催をする。山古志地域から、支所地域を一巡することになる。親も育つ子育てセミナー講演会は、新潟落語会会長 水都家艶笑氏を講師に迎え、子育てに関する話をする。定員 60 名で 56 名の応募があった。

(高橋教育長) その他に報告事項はあるか。

(小熊科学博物館長) 郷土資料館で開催中の土屋家資料展は、江戸時代初め 3 代目

藩主 牧野忠辰の代に能楽の囃子方（太鼓方）巧者として担当した土屋家の資料を博物館に寄贈いただき、展示をしているものである。企画展示室では、長岡藩主牧野家の至宝展を開催している。歴代藩主の書画を展示し、8代藩主以降の書画が中心となっている。良寛の里わしま歴史民俗資料館では、科学博物館が所蔵する遺跡資料の八幡林官衙遺跡出土品展を開催する。10月24日から29日まで中央公民館大ホールで児童・生徒の標本を展示する生物・岩石標本展示会を開催する。優秀作品展示は、10月31日から11月5日まで科学博物館展示室で開催する。馬高縄文館では、東北の土器と火炎土器Ⅱ 山形県の様相をさぐるを11月5日まで開催している。

（大矢子ども家庭課長） NHK教育テレビで「つくってあそぼ」のわくわくさんでおなじみの久保田雅人氏の工作ショーを開催する。長岡ロータリークラブ共催で、5か年計画の3回目である。まちなか絵本館では、絵本作家のいしかわこうじ氏が、絵本の読み聞かせとペーパーわんこワークショップを開催する。ファミリー・サポート・センター子育てサポート講座は、年3回実施しており、10月は2回目の事業であり、全部受講をすると登録会員として手伝いができるようになる。2回目の子育てあんしん支援者養成講座を開催し、母子保健推進員、主任児童委員20人弱が参加する。8月にながおか女子防災プロジェクトが立ち上がったので各関係者に声掛けをし、安全士会女性部5名が出席する。定員20名であったが、総勢29名くらいで講座を開催する。全受講修了者には、修了証を渡す。

（菊池スポーツ振興課係長） 10月9日体育の日に、アオーレ長岡をメイン会場としてスポーツ・レクリエーションフェスタ2017を開催する。事前申し込み必要なものもあるが、当日参加できるものもたくさんあるので多くの方から参加してほしい。

（高橋教育長） その他に報告事項はあるか。

（山田中央図書館長） 前回の定例会で鷲尾委員から質問のあった平成25年度に策定した「第一次長岡市子ども読書活動推進計画」の5年間の成果の検証について報告する。読書に関するアンケートを平成23年度と平成28年度に実施した。世代別に読書活動の推進計画に取り組んでおり、各世代別に、10から25事業を各担当課が取り組み、ワーキンググループで成果を踏まえて検証をした。乳幼児期における

読書活動の推進では、ブックスタート事業に取り組んだ。職員や読み聞かせボランティアが、普及を意識して取組年数を重ねるにつれ保護者の関心も高まり、プレゼントした絵本を活用している家庭も増加傾向にあった。「あなたはブックスタート事業でもらった絵本を家庭での読み聞かせに活用しましたか。」とのアンケートでは、「よく読んだ。」が平成 23 年度は 40.6%で、平成 28 年度は 47.4%に増加した。幼稚園・保育園期における読書活動の推進、小学校・中学校期における読書活動の推進、図書館における読書活動の推進という世代別の事業を数値から検証した結果を会議で報告し、課題を踏まえて第二次計画を策定していくこととなった。また会議では、朝読書をしているかとの質問があった。はっきりとした数字はないが、小学校・中学校ともほとんど朝読書を実施している。中学校ではその時間を計算や漢字の補充活動に使用している場合もあるが、何かしらの形で活動をしていると回答した。

(高橋教育長) その他に報告事項はあるか。

(鷲尾委員) Jアラートと連動した、学校の避難訓練は実施しているのか。

(竹内学校教育課長) 避難訓練を実施した学校もあるが、Jアラートと連動した避難訓練はない。

(鷲尾委員) 震災の津波などでは、想定をしていないことが起きた場合に学校の管理責任が求められる。Jアラートなど頻繁にある以上は、長岡市の学校に在学中、通学中に係る避難のマニュアルや統一した対応はあるのか。

(柳沢学校教育課指導主事) 統一はしていないが、文科省と県から通知が来ている。学校に子どもがいる間にJアラートがでた場合には、校舎外にいる場合は校舎内に入れる。校舎内にいる場合は、ガラスからなるべく離れることを最低限徹底している。Jアラートを想定した避難訓練は、一部の学校で実施している。

(鷲尾委員) 自主的な判断を各学校に任せているのか。

(金澤教育部長) 最近のJアラートはミサイルが主であるが、ほかに地震などもある。地震のJアラートの場合を想定した避難訓練は行った。事柄により、対応は変わる。

(高橋教育長) 長岡市教育委員会だけではなく、日本中に関係がある問題である。何かしらの機関が課題を整理し、指示に基づいて行動をしなければならない。それ

ぞれ覚悟をもって、学校現場は動かなければならない。これから、Jアラートへの対応について検討をしていかなければならない。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員